

全日本F3選手権 第5戦&第6戦 鈴鹿 専有走行レポート 2009年5月15日(金)

明日からのシリーズ第5・6戦を直前に控えた5月15日、恒例の金曜専有走行が鈴鹿サーキットで行われ、午後に好タイムをマークした PETRONAS TEAM TOM'S の国本雄資が総合トップを獲得。また、HFDP RACING の山本尚貴がNクラスのトップタイムを奪った。

午前10時から始まった午前のセッションでは、序盤1分55秒台で推移していた上位陣ながら、約20分経過したところで赤旗中断となったのを境に、後半になるにつれタイムアップ。最終的には1分54秒261をたたき出したトムスの井口卓人が「路面改修後、F3では初走行とあってやはりセットアップが難しい」としながらも、午前のトップタイムを奪うことに。1分54秒294という僅差で井口に続いたのは、戸田レーシングのケイ・コッツォリーノ。さらにマークス・エリクソンが3番手。Nクラスでは山本が1分56秒138をマークし、エイムスポーツの関口雄飛が1分56秒548、TEAM NOVAの佐藤公哉が1分56秒665と、57秒を切った3台がトップ3に。

午後2時30分からの2回目のセッションでも、開始20分ほどのところで赤旗中断があったものの、セッション終盤にはさらに多くのマシンがタイムアップ。既にただ一人53秒台に突入し、「持ち込みのバランスも良く、少しずつアジャストして行く程度で走れたが、自分のレベルも上げて行けたし最終的にトップタイムが獲れて良かった」と語っていた国本が、ラスト10分にニュータイヤで1分53秒664にタイムを伸ばし、このセッションはもちろんこの日総合でのトップタイムを獲得。2番手には1分54秒040で井口、3番手には1分54秒183でエリクソンと、結局トムス勢3台が上位を独占することとなった。

一方Nクラスでは、「自分でも思い通りに走れたし、最後のアタックでも引かなかったりしたために、まだタイムを上げられる余地を残しているので順調。明日以降雨の予報が出ているが、ぜひとも前回岡山の分を取り戻したい」と意気込みを見せる山本が、午後に入ってもトップを譲らず1分55秒694をマーク。2番手には1分56秒282で佐藤が、3番手には1分56秒558で関口が続き、Nクラス総合でもトップ3はこのオーダーとなっている。

明日は公式予選、そして第5戦決勝が予定されている。



▲ 総合トップタイムの国本雄資



▲ Nクラストップタイムの山本尚貴